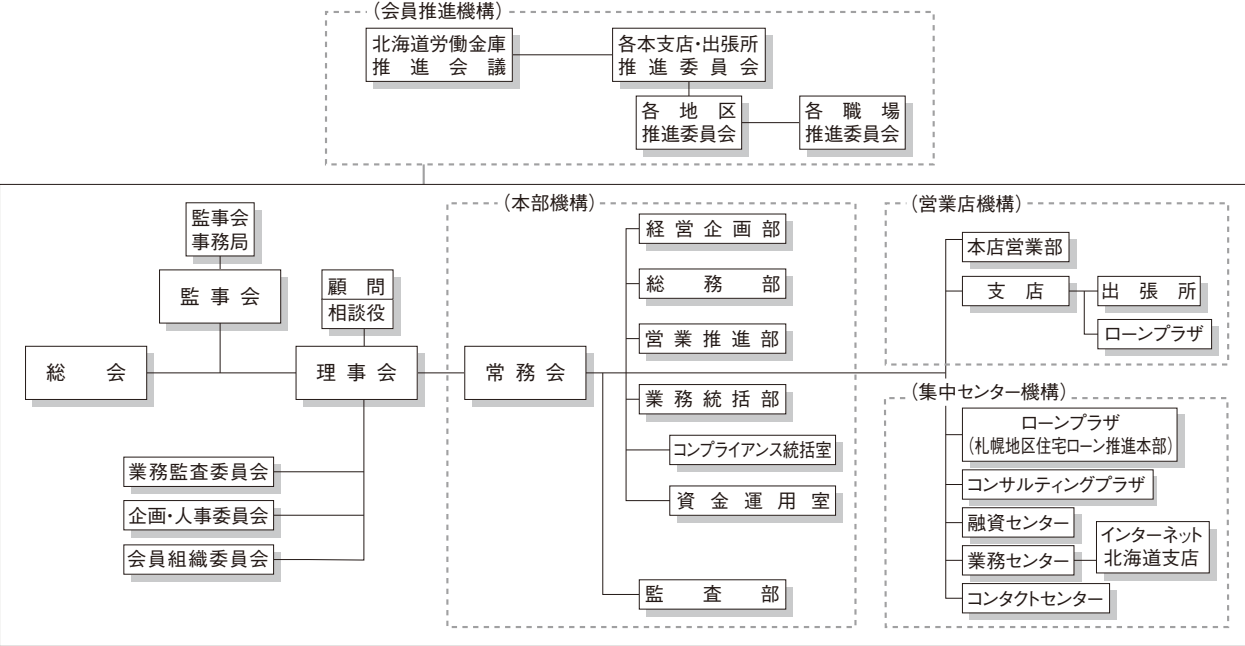


北海道ろうきんの組織

組織機構図 (2026年6月末現在)



役員一覧 (2026年6月末現在)

理事長	杉山 元	副理事長	千葉 利裕	専務理事	石川 真澄	常務理事	山田 佳寿	常務理事	加藤 寛章
	北海道労働者福祉協議会		自治労北海道本部		員外		員外		員外
理事	金子 ユリ		日本労働組合総連合会北海道連合会	理事	奈良 靖		UAセンセン北海道支部		
理事	河野 憲治		全日本運輸産業労働組合北海道地方連合会	理事	萩原 光典		NTT労働組合北海道総支部		
理事	古屋 敏彦		員外(道央法律事務所)	理事	山下 則和		北海道電力労働組合本部		
理事	佐藤 猛		日本製鉄室蘭労働組合	理事	山谷 一夫		北海道教職員組合		
理事	佐藤 亘		紙パ連合北海道地方本部	常勤監事	渡辺 曜久		員外		
理事	嶋原 満		日本郵政グループ労働組合北海道地方本部	監事	及川 華恵		員外(ひいらぎ法律事務所)(※)		
理事	鈴木 富夫		私鉄総連北海道地方労働組合	監事	笹谷 篤央		札幌トヨタ自動車労働組合		
理事	平 照治		北海道生活協同組合連合会	監事	千葉 達郎		電機連合北海道地方協議会		
理事	高橋 英雄		北海道中央バス労働組合	監事	深田 大幸		札幌市労働組合連合会		
理事	中川 憲一		北海道旅客鉄道労働組合						

(注) (※)は、労働金庫法第32条第4項に規定する員外監事です。

常勤役員等の兼職 (2026年6月末現在)

労働金庫法第35条(兼職又は兼業の制限)の第1項ただし書きの「内閣総理大臣及び厚生労働大臣の認可」を受けて兼職又は兼業を行っている常勤役員等はありません。

顧問・相談役一覧 (2026年6月末現在)

顧問	須間 等	日本労働組合総連合会北海道連合会
相談役	出村 良平	前理事長
相談役	和田 英浩	日本労働組合総連合会北海道連合会

会計監査人の名称 (2026年6月末現在)

監査法人ライトハウス

役員報酬の状況

	(2025年度)	
	支給人員	支給額
理事	18人	79,528千円
監事	5人	19,091千円
合計	23人	98,619千円

(注) 上記以外に支払った退任慰労金は理事764千円、監事一千円であり、役員賞与金はありません。

職員の状況

項目	2024年度末	2025年度末
職員数	700人	683人
平均年齢	41歳 8月	42歳 5月
平均勤続年数	13年 7月	14年 5月
平均給与月額	358千円	387千円

(注) 1. 当年度末よりその他の従業員に区分していた職員を一般職員へ含める記載へ変更したことに伴い、前年度末についても同一の基準で記載しています。
2. 平均年齢、平均勤続年数、平均給与月額は、それぞれ単位未満を切り捨てて表示しています。
3. 平均給与月額は、3月中の時間外手当を含む平均給与月額であり、賞与を除くものです。
なお、当年度より通勤手当支給方法を変更したため、平均給与月額から前年度末、当年度末ともに通勤手当を除いています。

沿革

戦後、勤労者の生活はインフレや賃金支払の遅れ等に苦しみ、当時生活資金の借入は高利の質屋等に頼らざるを得ませんでした。そのような時代背景の中、はたらく仲間の連帯と団結により『北海道ろうきん』は1951年5月に誕生しました。

創立以来、営利を目的とせず、生活者本位であることを基本に、「はたらく人たちのお金を」「はたらく人たちの手で」「はたらく人たちのために」運用する金融機関として皆様とともに歩みつ

づけ、今日に至ることができました。

これもひとえに、これまでに数多くの勤労者の皆様から寄せられたご支援や事業推進のための絶大なるご協力によるものと、あらためて感謝を申し上げる次第です。

当金庫はこれからも、これまでの歴史・経験を活かしながら、更なる事業の発展と地域社会への貢献に努めていきたいと考えています。

1951	北海道勤労信用組合創立総会 (団体会員数389、出資金300万円)
1952	炭労ストに伴う生活資金融資 (第5回理事会1億9,860万円)
1965	本店営業部に預金会計機 1台 業務用乗用車 1台購入
1970	創立20周年記念預金運動を設定
1972	財形貯蓄「虹の預金」取扱開始 電子計算センターオープン
1976	本店営業部現在の場所に移転 (札幌市中央区北1条西5丁目)
1977	預金量1,000億円突破
1978	第1次「サラ金」対策キャンペーン 貸出量1,000億円突破
1981	創立30周年 内国為替認可
1983	第2次「サラ金」対策キャンペーン
1984	為替オンライン開始
1985	全国オンラインキャッシュサービス開始
1987	住宅ローンに変動金利制導入
1990	轟ローン登場、大ヒット商品となる
1991	ユニティシステム(全国オンラインシステム)稼働 MICS(全国キャッシュサービス)サンダーバンキング実施
1992	轟ローン特別キャンペーン展開
1993	変動金利定期預金・中長期定期預金の取扱開始
1994	「金利上限付住宅ローン(キャップローン)」発売 国債窓販業務取扱開始
1995	「固定金利期間特約型住宅ローン」発売
1996	ろうきんビジョン「LEVEL2005」の策定
1997	預貸率80%突破
1998	「他行CD・ATM利用顧客手数料還元サービス」取扱開始
1999	郵便局とのオンライン提携開始
2000	デビットカードサービス開始 投資信託窓口販売開始
2001	創立50周年 社会貢献制度取扱開始 「インターネット・モバイルバンキング」取扱開始
2002	新情報システム稼働 「NPO事業サポートローン」取扱開始
2003	融資サポートシステム稼働 「お客様相談室」(札幌)設立
2004	法令遵守態勢強化に係る「改善計画書」提出 アイワイバンク(現セブン銀行)との提携開始 かんたんローン「お助けくん」発売
2005	個人向け国債取扱開始 「普通預金無利息型(決済用預金)」取扱開始
2006	第二地銀・信金・信組業態とのATM相互入金提携業務の開始 「無担保借換住宅ローン」取扱開始 保険窓販業務「ろうきん住宅総合保険」取扱開始 ICカードの取扱開始
2007	ユニティオンラインシステムの全国統一 「災害救援ローン」取扱開始 インターネット北海道支店を開設
2008	イオン銀行とのATM業務提携開始 全労済「ろうきん住宅ローン専用火災共済」取扱開始 「就職安定資金融資制度」取扱開始



北海道勤労信用組合
(道立札幌労働会館2F)

2010	「自動機利用手数料フルキャッシュバックサービス」 取扱開始 全労済「風水害等給付金付火災共済(付帯自然災害共済)」取扱開始
2011	創立60周年 「技能者育成資金融資制度」・「求職者支援資金融資制度」取扱開始 「震災遺児支援定期」発売
2012	ろうきんATMとセブン銀行ATMの利用件数に応じた 「あしなが育英会 東日本大地震・津波遺児募金」への寄付取扱実施
2013	「アール・ワンシステム」稼働開始 北海道生活協同組合連合会との「緊急災害対策等の相互連携に係る基本協定」締結
2014	「ろうきん住宅ローン ～すまいる上手～」取扱開始 「教育訓練受講者支援資金融資制度」取扱開始 「北海道労福協創立50周年記念キャンペーン」(定期預金「スクラム50」発売) 「ほかほかローン」取扱開始
2015	「オールマイティ保障型団信」取扱開始 「マイプラン(来店不要型)」取扱開始 イーネット、ローソン・エイティエム・ネットワークサービス、ビューカードとのATM提携開始
2016	「コブさっぽろ絵本がトドック絵本+1冊プレゼント」の取組 改正個人型確定拠出年金(iDeCo)法施行に伴う商品拡充
2017	「住(す)きっと!500」取扱開始 「奨学金借換ローン」取扱開始 日本政策金融公庫と「業務連携・協力に関する覚書」を締結し、協調融資商品「TSUNAGU」取扱開始
2018	「平成30年北海道胆振東部地震」の被災者に対する災害 救援ローン等の取扱開始 「マイプラン(WEB完結型)」取扱開始 貸出量7,000億円突破
2019	「轟ローン(WEB完結型)」取扱開始 「北海道働き方改革推進企業 勤労者応援ローン(愛称:働くひと応援ローン)」取扱開始 預金量1兆円突破 「ろうきんアプリ」・「かんたん通帳アプリ」取扱開始 電子マネーチャージの対応開始 「エコリフォームローン」取扱開始
2020	「教育ローン(WEB完結型)」・「フリーローン(WEB完結型)」取扱開始 新型コロナウイルス関連特別融資の取扱開始 協同組合ネット北海道の設立への参画
2021	創立70周年 「ろうきんアプリ」リニューアル
2022	ポータルサイト「みんなのマネLABO」公開 公式Twitterアカウント開設 預金量1兆1,000億円、貸出量8,000億円突破 「くるみん」「健康経営優良法人」認定
2023	「ろうきんダイレクト」リニューアル 北海道との包括連携協定締結 「バーステープラス定期預金」取扱開始
2024	「退職者専用特別定期預金 リラックス」の「家族プラン」取扱開始 「プラチナくるみん」認定 「轟ローン発売35周年記念キャンペーン」実施
2025	北海道警察との「情報連携協定書」締結 「だから、ろうきん 財形お引越しキャンペーン」実施